

第2次静岡市地球温暖化対策実行計画について

資料5-1

基本方針

総合的に地球温暖化対策に取り組みます

基本目標1

省エネルギーの推進

基本目標2

地域の特色を活かした
再生可能エネルギーの普及促進

基本目標3

災害に強く環境にやさしい
エネルギーの分散化

基本目標4

気候変動に適応した
対策の推進

令和3年度 指標の進捗状況

◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み
△…要調整 ×…達成困難 —…中

目標	No.	指標	基準値 (H26)	最終目標 (R4)	令和3年度		備考 (増減要因、今後の方向性など)
					現状値	達成 状況	
省基本 エネルギー目標① の推進	1	省エネルギーに取り組む市民の割合 向上	57.8% (H30)	62.4%	65.2%	○	【評価理由】 省エネルギーに取り組む市民の割合は、R4年度最終目標62.4%に対しR3年度65.2%まで増加し、今後も地球温暖化対策に関する市民の意識醸成を図り、目標を達成する見込み。
	2	自転車走行空間整備延長 (建設局 道路部 道路保全課) 向上	115.5km	259.7km	253.4km	○	【評価理由】 自転車走行空間ネットワーク整備計画に基づき整備が順調に進んでいるため、目標達成見込みとしている。
	3	一人1日当たりのごみ総排出量 (環境局 ごみ減量推進課) 削減	974g/人日	856g/人日	873g/人日 (速報値)	○	【今後の方向性】 昨年度実績から減少が見込まれるが、経年目標には到達していないため、さらなるごみの減量化を推進していく。
普再地基 及生域本 促進可の目 進能特標 エ色② をを 活か し のた	4	再生可能エネルギーの導入割合 (H25年度電気使用量比) 向上	21.5%	24.4%	24.2%	○	【評価理由】 主に太陽光発電の普及が順調に進んでおり、市内の太陽光の伸び率を考慮すると、目標達成見込みとしている。
	5	地域おこしを軸とした導入の推進 向上	—	3箇所以上	3箇所	◎	【評価理由】 既にR4年度目標を達成しているため。
エ災基 害本 に目 ぎ強 く3 の環 境 分 散 に や さ し い	6	分散型エネルギーを確保した住宅の割合 向上	18.3% (H30)	20.0%	50.9% (参考値)	○	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和2、3年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。
	7	水素ステーションの建設 向上	0箇所	1箇所	1箇所	◎	【評価理由】 既にR4年度目標を達成しているため。
	8	次世代自動車(EV、PHV、FCV)普及台数 向上	805台	2,130台	2,054台	○	【評価理由】 現在、年間200台程度増加していることから、残り1年で約600台の増加を予想し、目標達成見込みとしている。
対気基 策候本 の変目 進動標 に4 適 応 し た	9	気候変動に対応するための体制整備 確保	—	整備	全庁及び市民 に対する熱中 症警戒アラート 周知	○	【評価理由】 概ね計画通り進んでおり、目標達成見込みとしている。
	10	森林整備面積 (経済局 農林水産部 中山間地振興課) 向上	26,430ha	31,593ha	30,796ha	○	【評価理由】 静岡市森林計画に基づき順調に整備が進んでおり、令和4年に向け残り1年で完遂できるため、達成見込みとした。
	11	市民一人当たりの都市公園面積 (都市局 都市計画部 緑地政策課) 向上	6.09㎡/人	8.0㎡/人	7.00㎡/人	×	【今後の方向性】 予算確保及び公園用地の確保が困難な状況が続いており、令和4年度の目標達成は困難。管理コストの削減や設計時の工夫により少しでも目標に近づけるよう努める。

第2次静岡市地球温暖化対策実行計画

環境指標進捗状況 個票

(令和3年度末時点)

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	① 省エネルギーの推進

項目 02

指標		自転車走行空間整備延長							
目標		目標年度における259.7kmの整備							
選定の目的		道路利用者の安全性・快適性の向上のため、道路環境の改善を推進すること							
概要	趣旨	自転車をより安全・快適に利用できるよう、自転車レーン等を整備するとともに、それらの連続性を高めることで、観光時の移動手段としても活用されるよう、自転車走行空間ネットワークの充実を図る。							
	取組み内容 / 関連事業	●自転車ネットワーク路線の整備 自転車道、自転車専用通行帯(自転車レーン)、車道混在の整備によって 拠点施設同士のスムーズなアクセスを図り、地域の交流・連携の促進及び魅力の創造を図る。 ●駐輪場の管理・運営 自転車走行空間と駐輪場の一体的な整備 ●自転車利用促進事業 サイクルツーリズムの推進など ●自転車利用適正化事業 ルール・マナー向上の環境づくり							
	根拠法令等	・道路交通法 ・安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国土交通省・警察庁) ・静岡市民による自転車の安全利用確保に関する条例？							
同指標選定計画		・第3次静岡市総合計画 ・静岡市のみちづくり ・静岡市自転車走行空間ネットワーク整備計画							
備考		本指標は、自転車分担率(自転車利用がどの程度進んでいるか)が望ましいものの、毎年度算出することができないため、本市の整備状況を指標として設定した。							
目標 (経年目標)	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	115.5km								259.7km
実績		125.1km	136.8km	159.0km	185.4km	206.9km	221.2km	253.4km	
進捗状況			○	○	○	○	○	○	

【凡例】◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	建設局 道路部 道路保全課
----	---------------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	① 省エネルギーの推進

項目 03

指標		市民一人1日当たりのごみ総排出量							
目標		目標年度における856g/人日以下の達成							
選定の目的		廃棄物のさらなる減量により、循環型社会の形成を図ること							
概要	趣旨	4R(①発生抑制(Refuse)②排出抑制(Reduce)③再使用(Reuse)④再生利用(Recycle)を一言で表す言葉「もったいない」をキーワードに掲げ、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を認識し、協働して各種ごみ減量施策を推進する。							
	取組み内容／関連事業	【代表的な取組】 ・静岡版「もったいない運動」の推進 資源循環啓発施設を中心とした環境教育の推進 ・事業系ごみの減量化・資源化の推進 多量排出事業所への立入調査、減量化計画書の提出、管理責任者の選任を指導							
	根拠法令等	・循環型社会形成推進基本法 ・廃棄物処理法 ・資源有効利用促進法							
同指標選定計画		・第3次静岡市総合計画 ・第2次静岡市地球温暖化対策実行計画 ・一般廃棄物処理基本計画							
備考		「ごみ焼却施設への年間搬入量」／「(人口×365(うるう年は366))」により算出							
目標 (経年目標)	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		975g/人日	959g/人日	942g/人日	926g/人日	904g/人日	887g/人日	872g/人日	856g/人日
実績		959g/人日	944g/人日	928g/人日	935g/人日	940g/人日	900g/人日	873g/人日 (速報値)	
進捗状況			○	○	○	○	○	○	

【凡例】◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	環境局 ごみ減量推進課
----	-------------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	② 地域の特徴を活かした再生可能エネルギーの普及促進

項目 04

指標		再生可能エネルギーの導入割合（H25年度電気使用量比）							
目標		目標年度における23.6%の達成							
選定の目的		再生可能エネルギー構成割合の拡大により市域の温室効果ガス総排出量を削減すること							
概要	趣旨	再生可能エネルギーの導入支援等によって、市内における再生可能エネルギー設備の普及を促進する							
	取組み内容／関連事業	・再生可能エネルギーに関する環境教育の実施 市内の市有、民有の再生可能エネルギー設備を用いた見学会の開催や見学ルートの設定、周知等により、再生可能エネルギーに対する理解の促進を図る。 【静岡市次世代エネルギーパーク】 日本平動物園を「中心施設」として、市域全体が、経産省（エネ庁）が認定する「次世代エネルギーパーク」として認定されている。（平成26年10月～） ・家庭、事業所、公共施設等への普及 公共施設への率先した再生可能エネルギー設備の導入や、国や県の補助事業に関する情報発信等を通して、市域への再生可能エネルギーの導入を促進する。 ・再生可能エネルギーによる地域振興の検討 市民や事業者との協働により、中山間地等における再生可能エネルギーを活用した地域活性化の取組みを支援する。							
	根拠法令等								
	同指標選定計画	・第3次静岡市総合計画 ・第2次静岡市環境基本計画							
備考		【令和4年度目標値の算出方法】 直近3ヵ年の伸び率0.2%（太陽光発電）×今後3年=0.6%増 令和元年度時点が23.8%であるため、「23.8%＋0.6%=24.4%」							
目標（経年目標）	H26年度（基準年）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
					22.6%				23.6% 24.4%
実績			22.0% 23.0%	23.2% 23.3%	23.4% 23.5%	23.8%	24%	24%	
進捗状況			○	○	○	○	○	○	

【凡例】◎…達成（R4目標年度）○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

【算定方法の変更及びR4目標値の上方修正】

・令和元年11月から順次、固定価格買取制度が満了することに伴い、従来の手法での算定が困難となったため「固定価格買取制度 情報公開用ウェブサイト」で公表されている太陽光発電の新規認定及び移行認定された導入量を用いて算定している。

・R4目標値をR1に達成したため、再生可能エネルギー導入割合に係る直近3カ年の伸び率を基に、上方修正している。

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	② 地域の特色を活かした再生可能エネルギーの普及促進

項目 05

指標		地域おこしを軸とした導入の促進							
目標		目標年度における3箇所以上の導入							
選定の目的		低炭素社会への礎となる持続可能なまちづくりを推進する							
概要	趣旨	再生可能エネルギーの導入により、持続可能なまちづくりのモデルとして発信することで中山間地域の活性化を図る							
	取り組み内容／関連事業	●里地里山地域における持続可能なまちづくりモデル調査研究事業 梅ヶ島地区…地元住民が主体となって、地元の企業と連携し、県の補助金を活用し詳細設計を行っている（小水力100kW未満） 梅ヶ島は、中部電力発電所跡地の再利用 清沢地区…坂本川の砂防ダム。NPOと地域住民が主体となって、現在検討を行っている（小水力） 井川地区・両河内地区…今後、市と地域住民が連携し導入を検討 ●地域主導型再生可能エネルギー整備事業 市民ファンドを活用した太陽光発電設備を市有施設に導入 ●静岡市次世代エネルギーパーク計画 市内の特徴的な再生可能エネルギー施設を観光・環境教育拠点として情報発信							
	根拠法令等								
	同指標選定計画	・第3次静岡市総合計画							
備考									
目標（経年目標）	H26年度（基準年）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	—				（1箇所以上）				3箇所以上
実績	/		2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	
進捗状況			○	○	○	○	◎	◎	

【凡例】◎…達成（R4目標年度） ○…達成見込み △…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	③ 災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化

項目 06

指標		分散型エネルギーを確保した住宅の割合							
目標		目標年度における20.0%の達成							
選定の目的		エネルギーの分散化を推進することにより、環境負荷を低減するとともに防災力を強化すること							
概要	趣旨	エネルギーの分散化の取組みを支援・促進する。							
	取組み内容 / 関連事業	【代表的な取組み】 ・静岡市水素エネルギー利活用促進協議会運営 静岡市水素エネルギー利活用促進ビジョン・アクションプランの進捗管理 ・静岡型水素タウン促進事業 普及啓発事業を行い市民の水素エネルギーに対する意識を醸成 ○水素・燃料電池展 ○る・く・ると連携した科学教室 ○出前授業 ・静岡型水素タウン促進事業補助金 家庭用燃料電池、業務用燃料電池、燃料電池自動車の導入費用の一部を助成							
	根拠法令等								
同指標 選定計画		・第3次静岡市総合計画 ・第2次静岡市環境基本計画							
備考									
目標 (経年目標)	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
					18.3%	18.7%	19.2%	19.6%	20.0%
	実績					18.3%	31.8% (参考値)	50.8% (参考値)	50.9% (参考値)
進捗状況					○	○	○	○	

【凡例】◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	③ 災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化

項目 07

指標		水素ステーションの建設							
目標		目標年度における1箇所の建設							
選定の目的		低炭素社会への礎となるエネルギーの分散化、また次世代自動車の普及促進を目指す							
概要	趣旨	次世代自動車（ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車、天然ガス自動車など）の普及拡大を目指し、エネルギー供給設備の整備を促進する							
	取り組み内容／関連事業	●水素ステーションの建設 水素ステーション整備支援 準水素型燃料電池に係る実証実験 水素エネルギーを身近に感じてもらうための環境教育事業を実施予定 ●静岡型水素タウンの構築 静岡市、静岡ガス、パナソニックの3者による包括連携協定の締結 静岡市水素エネルギー利活用促進協議会の設立、静岡市水素エネルギー利活用促進計画の策定							
	根拠法令等								
同指標選定計画		・第3次静岡市総合計画							
備考									
目標 （経年目標）	H26年度 （基準年）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	—		協定締結 ステーション建設開始 基本構想構築	ステーション 供用開始					1箇所
実績	/		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
進捗状況			◎	◎	◎	◎	◎	◎	

【凡例】◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡県地球温暖化対策実行計画
基本目標	③ 災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化

項目 08

指標		次世代自動車（EV、PHV、FCV）普及台数							
目標		目標年度における2,130台普及の達成							
選定の目的		運輸部門からの温室効果ガス排出量の低減を図るとともに、蓄電池としての活用によるエネルギーの分散化を目指す							
概要	趣旨	普及啓発活動や優遇制度を活用し、次世代自動車の普及拡大を図る。							
	取り組み内容／関連事業	●イベント開催時の車両展示 キャンドルナイトなどの各種イベント時において、EVの給電デモンストレーションを実施 ●次世代自動車普及促進協議会 運輸部門に関わる各種主体による協議会を設置し、普及拡大に向けた検討を行っている ●水素ステーションの整備（再掲） ●FCVの導入経費の一部を助成							
	根拠法令等								
	同指標選定計画	・第3次静岡市総合計画							
備考		・EV、PHVについては、過去の普及トレンドにより算出 ・FCVについては、民間事業者が実施した水素ステーション建設に向けた採算性調査の普及台数を参考に算出 R3年度内訳：EV1,059台、PHV980台、FCV15台（合計2,054台）							
目標 （経年目標）	H26年度 （基準年）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	805台	971台	1,137台	1,303台	1,469台	1,635台	1,801台	1,967台	2,130台
実績	／		1,084台	1,296台	1,601台	1,743台	1,848台	2,054台	
進捗状況			○	○	○	○	○	○	

【凡例】◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	④ 気候変動に適応した対策の推進

項目 09

指標		気候変動に対応するための体制整備							
目標		目標年度における体制整備							
選定の目的		気候変動による影響に適応し、静岡市独自の生態系や市民生活を守り、次世代につなげていく							
概要	趣旨	各種関係機関による実行体制を構築し、気候変動による実際の影響を研究・蓄積するとともに、それらに備えた適応策の効果的かつ迅速な実施を目指す							
	取り組み内容／関連事業	※「適応策」とは、最大限の温暖化対策を施しても避けられない気候変動の影響(2℃の平均気温上昇に伴う影響:短時間強雨の増加、農作物の適地変化、熱中症の増加など)に対して、人間社会が進化・適応していく考え方(水害ハザードマップの作成、高気温に耐性を持つ品種の開発など)。基本的に既に実施している施策の延長であることが多い。 ●庁内推進体制の整備 静岡市環境政策連携統括会議(局長級会議)により、庁内の連携体制を整備 ●気候変動適応情報プラットフォームへの参画 国立研究開発法人国立環境研究所の主宰する同団体への登録により、最新情報の収集を行っている							
	根拠法令等	気候変動適応法							
	同指標 選定計画	・第3次静岡市総合計画 ・第2次静岡市環境基本計画							
備考		推進体制は、静岡地方気象台や河川事務所、国、県、市民活動団体などの参画を想定 国の整備体制を踏まえ検討							
目標 (経年目標)	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	—	情報収集	普及啓発・情報収集			関係機関との調整			整備
実績		情報収集	庁内での連携体制構築	庁内勉強会 施策整理	庁内勉強会 施策整理	適応策アクションプラン 策定	適応策啓発 ハンドブック の作成・配布	全市及び市民に対する 熱中症警戒アラート周知	
進捗状況		○	○	○	○	○	○	○	

【凡例】◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	環境局 環境創造課
----	-----------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	④ 気候変動に適応した対策の推進

項目 10

指標		森林整備面積							
目標		目標年度における整備面積28,930haの達成							
選定の目的		温室効果ガスの森林吸収源であるとともに、気候変動による影響から生態系を保全するための適応策として森林整備を行う							
概要	趣旨	市有林・民有林の間伐を行うことで二酸化炭素吸収効果の高い健全な林地の拡大を目指すとともに、木材の魅力や二酸化炭素固定効果を効果的に発信し、市産材活用の拡大による林業の活性化を図る。							
	取組み内容／関連事業	●市有林の整備 「静岡市森林整備計画」に基づき、森林環境基金による整備を実施 ●静岡市森林環境アドプト事業 二酸化炭素吸収源の拡大を図り、都市部の事業者と山間部をつなぐ資金の「アドプト」による森林整備を実施 ●市産材利用促進事業 静岡ひのき・杉の家推進事業 ●公共建築物への市産材活用 静岡市公共建築物等における市産材等木材利用促進に関する基本方針							
	根拠法令等	森林法							
同指標選定計画		・静岡市森林整備計画							
備考		同指標は、温室効果ガスの吸収量を図るものとして、また、適応策の推進(生育環境の保全や水源涵養、災害対策など)を検証するために設定 基準年の数値は、第一次計画からの引き継ぎ。(1990年を基準として森林整備面積を積み上げ。) H30年度以降実績値は、中山間地聞き取り(市実施分整備面積のみ)＋森林環境アドプト事業実績 ※R3 30,234ha(R2までの実績)＋ 550.95 ha(中山間地振興課R3)＋11.05ha(環境創造課R3)＝ 30,796 ha 【令和4年度目標値】 令和2年度時点で目標を達成したため、今後の森林整備計画(中山間地、中部農林事務所、森林環境アドプトあわせて約710ha/年)を考慮して、再設定							
目標 (経年目標)	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	26,430ha	26,742ha	27,055ha	27,367ha	27,680ha	27,992ha	28,305ha 30,173ha	28,617ha 30,883ha	28,930ha 31,593ha
実績		26,836ha	27,229ha	27,917ha	28,684ha	29,463ha	30,234ha	30,796ha	
進捗状況			○	○	○	○	○	○	

【凡例】◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み△…要調整 ×…達成困難 ―…中止

所管	経済局 農林水産部 中山間地振興課
----	-------------------

計画	静岡市地球温暖化対策実行計画
基本目標	④ 気候変動に適応した対策の推進

項目 11

指標		市民一人当たりの都市公園面積							
目標		目標年度における8.0㎡/人の整備							
選定の目的		緑あふれる美しいまちを創出し、市民の生活環境の向上を図ること							
概要	趣旨	市の財政状況を踏まえた計画的な公園整備と、無償借地公園制度等の新たな手法の導入によって、都市計画区域内における公園面積を拡充する							
	取組み内容／関連事業	・「みどりの基本計画」に基づく計画的な公園の整備 「みどりの基本計画」における将来の都市公園配置計画実現に向けて公園整備を進めていく。 長期目標として、20年後（平成45年度）以降において、市民一人当たり22.2㎡/人（計129ha）の整備目標を掲げている。 ・無償借地公園制度の推進（平成26年度～） 民間の土地所有者から無償で土地を借り受け、市と地域住民が協働して公園としての整備、供用後の管理を行う事業。 土地所有者は、税制上の優遇が受けられ、土地管理の負担が軽減される。 【整備実績】 3件：三保陽だまり公園、北・西ノ条公園、吉川南公園、富士見台2丁目公園							
	根拠法令等	・都市緑地法 ・静岡のみどり条例							
同指標選定計画		・第3次静岡市総合計画 ・第2次静岡市環境基本計画 ・静岡のみどりの基本計画（緑地政策課）							
備考		同指標は、ヒートアイランド対策の推進や緑地の普及状況について検証するために設定。 同取組を行うことで、緑のネットワーク形成に資する取組となる 本指標は、「第1次環境基本計画」にも搭載されていた指標（平成29年度に8.4㎡/人）であるが、財政面等の事情から都市緑地の開設が計画通り進まなかったこと等により未達成であった。 公園面積については、計画策定時の市民意識調査により市民からの満足度が低く要望が多かった点であるため、これまでの整備状況等を踏まえ、現実的な目標値を算定したうえで再度指標として設定した。							
目標（経年目標）	H26年度（基準年）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	6.09㎡/人								8.0㎡/人以上
実績		6.2㎡/人	6.27㎡/人	6.33㎡/人	6.51㎡/人	6.58㎡/人	6.64㎡/人	7.00㎡/人	
進捗状況			○	○	○	○	△	×	

【凡例】◎…達成（R4目標年度） ○…達成見込み △…要調整 ×…達成困難 —…中止

所管	都市局 都市計画部 緑地政策課
----	-----------------